

「金曜ロードショーとジブリ展」大分展 開催のお知らせ



大分県立美術館では2026年1月17日（土）～3月31日（火）の期間、「金曜ロードショーとジブリ展」大分展を開催いたします。

高畑勲や宮崎駿※1らによる名作アニメーションの数々を世に送り出してきたスタジオジブリ。その作品が広く愛されるようになったきっかけの一つが、日本テレビの映画番組「金曜ロードショー」でした。本展では「金曜ロードショー」の歩みと同時代の記録をたどりながら、スタジオジブリ作品の魅力に迫ります。さらに、驚きと発見に満ちた迫力のある展示空間により、作品の世界を体感することができます。

〈※1 崎は「たつさき」〉

展覧会構成とみどころ

時代ごとに紐解くジブリ作品の魅力

“金ロー”とジブリの歴史を辿る圧巻のデータベース！

「金曜ロードショー」はこれまで200回以上にわたってスタジオジブリ作品を放送してきました。その歴史はスタジオジブリが人気を確立し、作品の評価を不動のものとしていく足跡とともにあり、現在も続いています。番組の放送が始まった1985年は、スタジオジブリが“スタジオ開き”をした年であり、日本テレビが特別番組で「風の谷のナウシカ」を初放送した年です。本展ではそんな1985年を起点に、スタジオジブリ作品の公開年、そして「金曜ロードショー」で初放送された年がどんな時代だったのかを振り返りながら、記憶と記録を通じて作品が持つ時代性と普遍性を浮かび上がらせていきます。



名シーンを絵コンテで振り返る！ジブリ作品の“設計図”に迫る

「風の谷のナウシカ」から「アーヤと魔女」まで、ほぼ全作品の絵コンテの一部を展示。

絵コンテとは、いわば映画の設計図。シーンの流れをコマ割りしたもので、場面構成やセリフなど演出イメージがつかめます。作品の生まれる過程を見られる貴重な機会となるでしょう。

ジブリ映画ポスタースタジオ

ポスターの主役はあなた！

スタジオジブリ作品のポスターの中に飛び込んで、主人公のように撮影できる空間。そこはまるで架空のスタジオに迷い込んだような場所。作品の主人公になった気分で楽しみましょう！対象作品は「魔女の宅急便」「もののけ姫」「千と千尋の神隠し」「猫の恩返し」「崖の上のポニョ」。

(C) Studio Ghibli ※他会場の様子

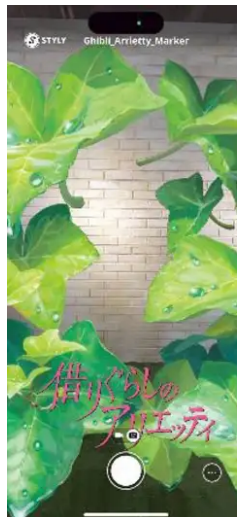


小人になれる？ 不思議なAR体験

「アリエッティの世界」AR

特別協賛のau（KDDI）の協力により、ARコンテンツを提供します。アプリ「SATC X」をダウンロード（無料）し、会場内にある「借りぐらしのアリエッティ」ポスター付近のARマーカを読み込むと、アリエッティと同じ目線で巨大な植物と虫たちが溢れる世界をARで体験できます。画像、映像はスマートフォンに保存できます。

(C) Studio Ghibli ※他会場の様子



ジブリの幻燈楼 音と光に包まれる幻想的な空間

「幻燈」とは、フィルムや造形物などに強い光を当てて、レンズで幕などに拡大映像を投影して見せることができる装置。ガラスの町・富山の富山ガラス造形研究所、富山ガラス工房、地元作家らが制作を担当し、スタジオジブリが監修しました。キャラクターをモチーフとしたガラスに光を照射することで、映画の世界観を音と光に包まれながら体験できます。

(C) Studio Ghibli ※他会場の様子



“金ロー”とジブリの原点

「金曜ロードショー」とスタジオジブリの歴史の原点といえば「風の谷のナウシカ」。本展では、映画に登場する“腐海”の空間を、稀代の造形作家として世界に多くのファンを持つ竹谷隆之さんらが作った造形物で表現します。圧巻のクオリティーで作られた王蟲、大王ヤンマ、ムシゴヤシなどが待つ空間は、来場者を魅了することでしょう。

(C) Studio Ghibli ※他会場の様子



腐海へ迷い込むAR体験

「風の谷のナウシカ 王蟲の世界」AR

特別協賛のau（KDDI）の協力により、ARコンテンツを提供します。アプリ「SATC X」をダウンロード（無料）し、王蟲の展示場所にあるARマーカーを読み込むと、迫力ある大迫力な王蟲たちがARで出現。何が起こるかは会場でお確かめください。

(C) Studio Ghibli ※イメージ



「風の谷のナウシカ 王蟲の世界」とマチカメ撮影

特別協賛のau（KDDI）の協力により、ARコンテンツを提供します。プロ仕様の構図で写真撮影ができる遠隔カメラ「マチカメ」で、腐海のなかで王蟲と一緒にいるかのような写真を撮影することができます。

※写真クレジットは全て他会場の様子です。

金曜ロードショー

1985年から日本テレビ系で放送されている映画番組。72年から放送されていた「水曜ロードショー」の放映曜日が金曜日に移ったのを機に、名称を変更しあらたにスタート。86年に「風の谷のナウシカ」を初放映（※）して以来、これまで200回以上にわたってスタジオジブリ作品を放映。97年から2009年までは、スタジオジブリが制作したオリジナルのムービー（音楽：久石譲）がオープニングを飾りました。キャラクターの“フライデーおじさん”は宮崎駿監督が生み出し、「耳をすませば」の近藤喜文監督が仕上げたものです。 (C) Studio Ghibli



※「風の谷のナウシカ」の初放映は85年、日本テレビの特別番組。

開催概要

展覧会名 「金曜ロードショーとジブリ展」

会期 2026年1月17日（土）～3月31日（火） 休展日：なし

時間 10:00～19:00 ※金曜日・土曜日は20:00まで(入場は閉館の60分前まで)

会場 大分県立美術館 1階

観覧料 一般:1,900円 中高生1,500円 小学生1,000円 未就学児無料

チケット販売所 公式オンラインチケット、ローソンチケット、日テレゼロチケ

本展は「日時指定予約制」です。事前に日時指定券をご購入の上、ご来場ください。

販売期間：2025年11月17日（月）～

※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳をご提示の方とその付添者（1名）は無料。**要オンライン予約**

※団体料金はありません

※大分県芸術文化友の会 びび KOTOBUKIとTAKASAGOは無料（1回まで）。**要オンライン予約**

主催 金曜ロードショーとジブリ展大分展実行委員会（公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館、株式会社テレビ大分）

共催 日本テレビ、大分合同新聞社

特別協賛 au（KDDI株式会社）

協賛 TOPPAN クロレ

展示協力 ア・ファクトリー

特別協力 スタジオジブリ

後援 大分県、大分県教育委員会、大分市教育委員会、NPO法人大分県芸術振

金曜ロードショーとジブリ展 大分展 WEBサイト

■お問合せ

公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館

学芸担当：池田、渡辺／広報担当：安東、山口

Tel: 097-533-4500 Email: info@opam.jp